

□議員名：矢田松夫

### 1 市長の政治信条について

論点	重大な政策課題について、市長自らが出向いて市民の声を真摯に聴く広聴への姿勢を貫いてきたのか。
回答	ここ数年はコロナ感染症の影響で開催しなかったが、団体とのスマイルトークについて、年6回開催することになった。今後も引き続き市民の声を聴き、協創のまちづくりに向け進めていく。

論点	水道料金の値上げや保育所の廃園、学校の廃校など大事な課題について現場に行くことがなかったがその理由を尋ねる。
回答	チーム、組織で市民の意見を吸い上げ、市政に反映している。組織で対応しているから問題はない。

### 2 教育委員の一般公募について

論点	前任市長は、広く市民から人材を求めていくことで公正公平な一般公募を実施してきたが、なぜ行わないのか。
回答	様々な視点を勘案しバランスも考慮しながら、最も適任であると考えられる人をこれまで適切に行ってきた。今後も一般公募と言う手法ではなく、適切な選考をしていく。

### 3 健全な財政運営について

論点	経常比率の硬直化が見られる。また、実質公債比率が増大しているが、今後の財政運営についてどのようにされるのか。
回答	実質公債比率は、地方公共団体の借入金の返済額の大きさを示すものだが、過去の大型建設事業に係る市債の元金償還が始まったことから増加傾向にある。

### 4 効率的で効果的な財政運営について

論点	利用廃止した公共施設や跡地の事業計画を早い時期に示すといいながら、遅々と進まない原因を明らかにすること。
回答	すでに発生している未利用地だけでなく、将来発生が予想される未利用地についても、市有財産活用検討委員会での検討を行い、有効活用の取組を行っていく。

### 5 子育て支援の充実について

論点	児童クラブの利用人員について、おおむね40人以下となっているが遵守されていない。どのように解決を図られてきたか。
回答	受入れ可能なクラブについては40人の充実を図ってきたが、一部高学年までの受入れができていない。少しでも課題解決に向けて努力をしていきたい。

## 6 観光政策について

論点	観光ビジョンを取りまとめたアクションプランや観光振興プランなどにより、誘客120万人の目標達成ができたのか。
回答	目標の達成に向け4つの基本戦略に沿った施策の取組を行うことに加え、海辺の駅「そらうみ」のリニューアルオープンもあり、付加価値を高め、本市の魅力を体験できるよう今後も進めていく。